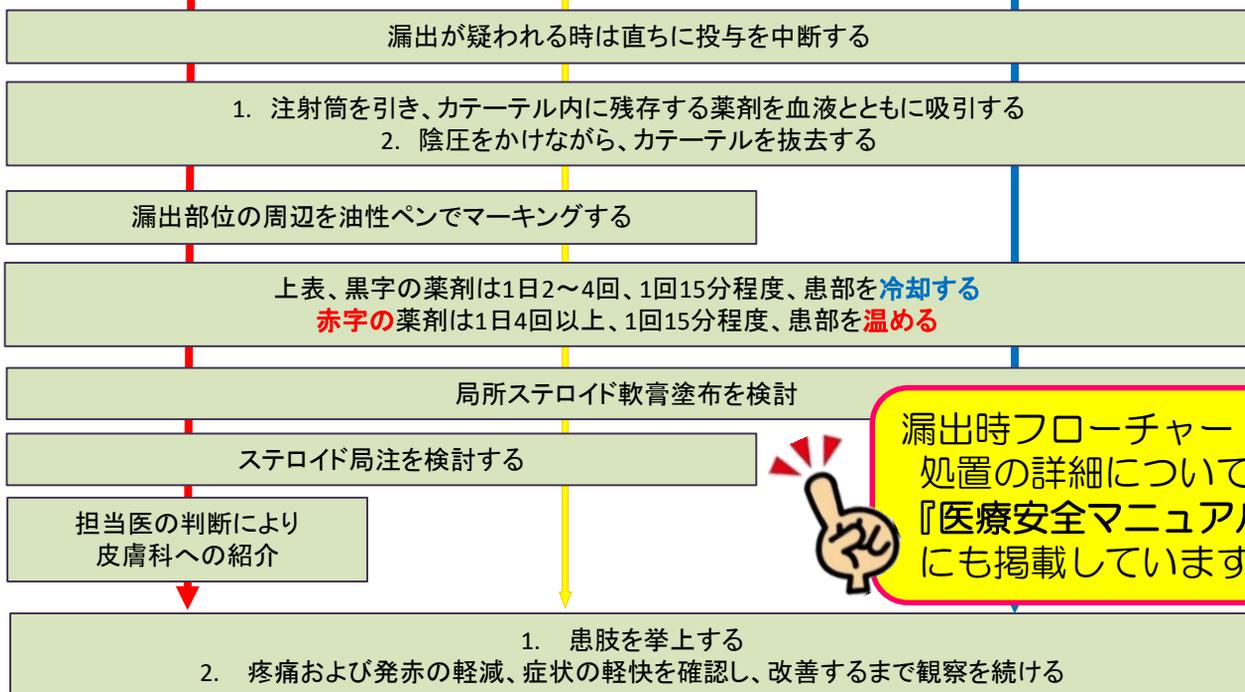




○更新○ 抗がん剤の血管外漏出時の対応について

抗がん剤の採用薬品の変更、および血管外漏出時のリスク分類に関する情報のアップデートにより、『抗がん剤のリスク分類および血管外漏出生時対応フローチャート』の更新を行いました。変更点の詳細は裏面をご参照ください。

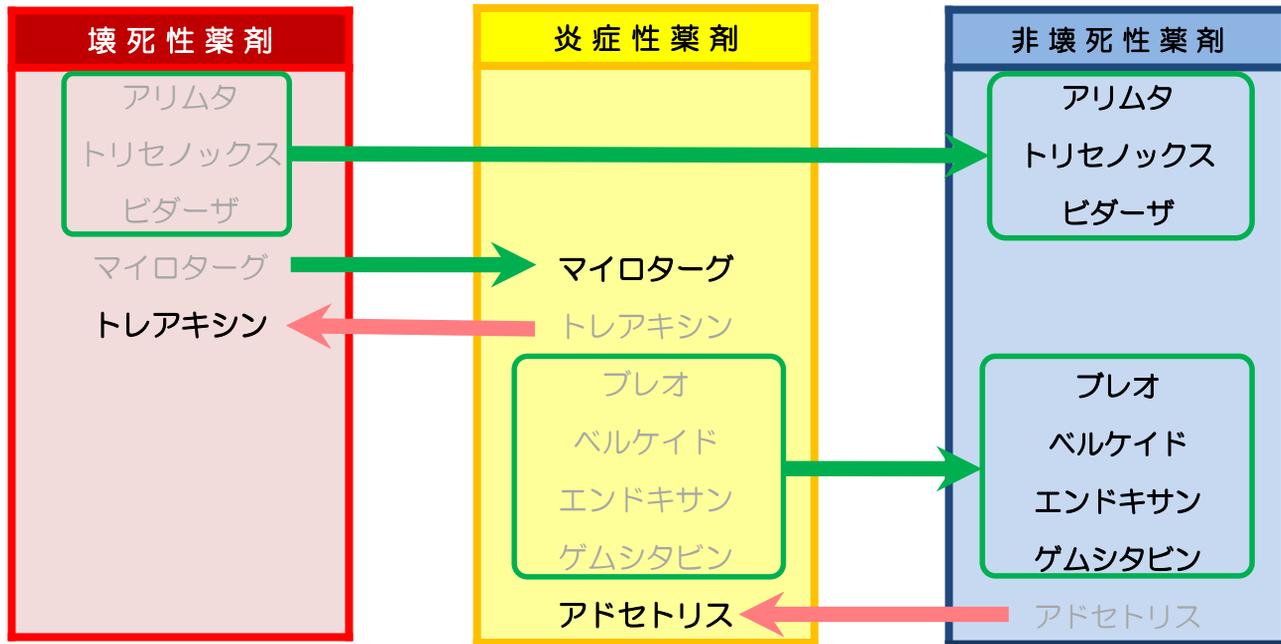
壊死性薬剤	炎症性薬剤	非壊死性薬剤	
アブラキサン イダマイシン エクザール エピルビシン オンコピン カルセド コスメゲン サイメリン ジェブタナ ダウノマイシン テラルビシン ドキソルビシン ドセタキセル トレアキシン ニドラン ノバントロン パクリタキセル ピノルビン フィルデシン ブスルフェクス マイトマイシン ヨンデリス ロゼウス	アクラシノン アドセトリス アラノンジー アルケラン イホマイド エトポシド エルプラット エンハーツ オニバイド カイプロリス カドサイラ カルボプラチン ザノサー ザルトラップ シスプラチン ダカルバジン テモダール ドキシル トポテシン ハイカムチン フルオロウラシル マイロターグ	アーゼラ アービタックス アバスチン アリムタ イストダックス イミフィンジ エムプリシティ エンドキサン オプジーボ ガザイバ キイトルーダ キロサイド ゲムシタピン サークリサ サイラムザ シタラピン ジフォルタ ダラザレックス テセントリク	トーリセル トリセノックス パージェタ ハーセプチン バベンチオ ハラヴェン ビーリンサイト ビダーザ フルダラ ブレオ ベクティビックス ベスポンサ ベルケイド ポテリジオ マブキャンパス メソトレキセート リサイオ ロイナーゼ ロイスタチン



漏出時フローチャートと処置の詳細については『医療安全マニュアル』にも掲載しています！

変更内容の詳細

<リスク分類の変更> ※以下の薬剤は対応が変わりますのでご注意ください



<薬剤追加>

壊死性薬剤	ジェブタナ	ヨンデリス	ニドラン	ピノルビン
炎症性薬剤	アラノンジー カイプロリス	アルケラン カドサイラ	エンハーツ ザルトラップ	オニバイド
非壊死性薬剤	イストダックス キイトルーダ テセントリク マブキャンパス	イミフィンジ サークリサ バベンチオ リサイオ	エンプリシティ ジフォルタ ビーリンサイト	ガザイバ ダラザレックス ベスボンサ

<冷罨法・温罨法>

変更内容	変更理由
アブラキサン 冷罨法 → 温罨法	パクリタキセルに準じて変更。各種ガイドラインに記載はないが、製造メーカーも温罨法を推奨しているため。
エトポシド 温罨法 → 冷罨法	温罨法による処置が一般的であるが、ESMOガイドラインに温罨法の記載がないこと、温罨法の有効性に関するエビデンスが不十分であると判断したため。

<参考資料>

1. Management of chemotherapy extravasation: ESMO-EONS Clinical Practice Guidelines. *Annals of Oncology* 23 (Supplement 7): 167-173, 2012
2. Extravasation Classifications of Systemic Anti Cancer Therapy, NCCP Document 0010, version 2, 2019
3. Management of the extravasation of anti-neoplastic agents. *Support Care Cancer* 23:1459-1471, 2015
4. Guidelines for the Management of Extravasation of a Systemic Anti-Cancer Therapy including Cytotoxic Agents. West Midlands Expert Advisory Group for Systemic Anti-cancer Therapy (SACT), 2015
5. 抗がん剤の血管外漏出の予防と対応ガイド. キッセイ薬品

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい(文責:山田悠人)